

おうち時間で親子の絆を深めよう！

新型コロナウイルス感染症が流行し、自宅で過ごす時間が増えたことで「おうち時間」が注目を集めました。親子でコミュニケーションが増えたり、家族について見つめ直すきっかけになった人も多いのではないのでしょうか。コロナ禍には何かとマイナスなイメージが多いものですが、自宅で過ごす時間が増えたことはプラスに捉えることができそうですね。家族との思い出となる「おうち時間」を充実させ、親子の絆を深めていきましょう。

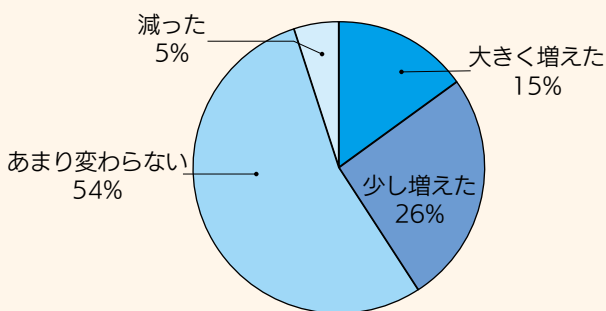


【親子で過ごす時間の変化】

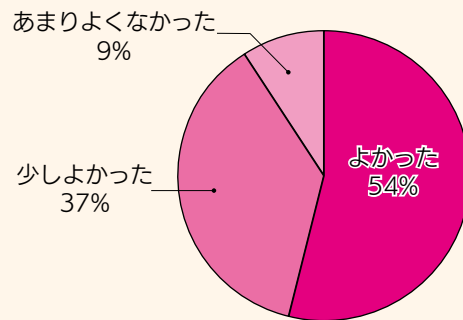
親子で過ごす時間は、子どもの成長にどんな影響を与えているのでしょうか。小・中学生とその保護者、計330人にアンケートを取りました。

(参考：(公財)愛知県教育振興会 家庭教育月刊誌「子とともに ゆう&ゆう」2021年8月号)

Q1. コロナ禍での休日、親子で過ごす時間は以前に比べてどう変化しましたか？



Q2. 「増えた」と答えた人に聞きました。親子で過ごす時間が増えたことを、どう思いますか？



◆親子で過ごす時間が増えたことを「よかった」「少しよかった」と思う人の声

- これまで、親子で一緒にいる時間があまりなかったからうれしかった(小学4年生)
- コミュニケーションをとることが普通になってきて、絆が深まった(中学1年生)
- 子どもの様子や考えが分かった(中学1年生保護者)

Q3. おうち時間をどう過ごしていますか？

たこ焼きや焼き肉を
パーティーと呼んで
楽しんでいます



親子で一緒にガーデ
ニングや家庭菜園を
始めました



カードゲームやボー
ードゲームを笑いなが
ら楽しみます



家族とおしゃべりなどコミュニケーションを取ることは、自分が認められているという子どもの自己肯定感を生み出し、情緒が安定し人間関係の基礎となる社会性を育てていきます。子どもの成長は待ってられません。親子の時間を大切にしましょう。

市では各小学校で「家庭教育学級」、各中学校で「思春期家庭教育講座」を開催しています。家庭教育に関する講演会や体験活動などを通して、家庭教育に役立つ情報を提供していますので、ぜひご参加ください。

